



週報

入間ロータリークラブ



2018-2019 RI 会長:バリー・ラシン RI2570 地区ガバナー:茂木正 会長:齋藤栄作 幹事:豊田義継

第 46 号 3078 例会 2019 年 6 月 13 日 (木)

<❀会長の時間❀> 齋藤栄作会長

今年度も本日の例会を含めて残すところ 3 回となりました。宜しくお祈りいたします。

6 月 7 日に地域交流研修会が開催されました。ロータリークラブとして法人会として PTA 関係の諸団体として多くの入間ロータリークラブの会員の皆様にも参加をいただきました。



ロータリーの奉仕形態は「I Serve」ライオンズは「We Serve」と言われています。簡単に言えば「皆で奉仕しましょう」がライオンズでロータリーはロータリークラブに入会して奉仕の精神を団体で学び「個人で奉仕する」という違いだと言われます。入間ロータリークラブとして入間南ロータリー・入間ライオンズクラブ、入間青年会議所を巻き込んで「入間の子供たちのために」と始めたこの会も 12 年間継続しております。今回近隣高等学校等校長会が参入し入間市校長会・入間市教育委員会を含めて 20 団体が加盟する大所帯となりました。

産業文化センター大ホール全体会の中で 2 団体からの発表がありました。狭山小学校と、入間少年相撲クラブです。特に入間少年相撲クラブの発表者である入間南ロータリークラブ所属の西沢正夫君は 25 年間という時間を費やし入間市にわんぱ

く相撲・相撲の街入間を根づかせ、結果として角界に幕内力士を送り込んできた人です。彼が育てた所沢出身の北斗富士大輝君（最高位西小結）は、土俵に上がる時の礼節、土俵マナーが日本一と言われていいます。彼に続いて角界に進んだ数名（平幕大栄翔・阿炎）の入間少年相撲クラブ OB の礼節を重んじた態度が角界で高く評価されています。強さを求めるより先ず礼節を重んじ、後から結果がついてきた素晴らしい指導・教育であり成功事例です。

今回配布された週報の写真は最近の入間場所の写真です。大相撲入間場所も 24 年前に私が入間青年会議所第 20 第理事長の時に西沢正夫君を始めとする青年会議所メンバーと誘致したのが始まりです。私としても今回の全体会での発表は 20 数年の風景が頭に浮かんで大変感動しました。「継続は力なり」しかしながら、その陰で必ず継続して尽力する個人が無ければ成しえないと言う事です。

最終例会は鉄板焼き八王子うかい亭で行われます。嬉しいことに現段階で 45 名の参加をいただいています。55 を昨年迎えた日本一の鉄板焼きの食事処です。私も父、息子と 3 世代に渡って使わせていただいています。スペシャルメニューを用意しましたのでぜひ楽しみにしてください。

本日は前回欠席された会員増強委員会、日帰り美術館の二つの委員長の発表と 5 大奉仕の委員長の発表となります。宜しくお願いします。

<幹事報告> 豊田義継幹事

<報告事項>

- 1. 6/27(木)最終例会は八王子うかい亭となりました。45名参加となりました。多くのご参加ありがとうございます。
- 2. 6/9(日)わんぱく相撲大会の御礼と上位者の9月大会への出場応援の依頼
- 3. 6月のロータリーレート1ドル110円



■各小委員会 事業報告■

■会員増強委員会 一柳達朗委員長

皆さんからお声を掛けていただき3名の方が入会され、ありがとうございました。



一年間活動してきて、ロータリーを知ってもらった事が、中々難しいと感じました。クラブを存続するためにも、一人でも多くの方に辛抱強く声掛けをしていき又、各年代のメンバー構成になると良いと思いながら今後も、会員増強に向け私自身も動いてまいります。宜しくお願い致します。

■ロータリー美術館 宮寺成人館長



昨年の11月15日に行きました、フェルメール展は美術館初めての入场制限により、事前にチケットを購入しなくてはならない為、大変な思いをしましたが印象に残りました。この絵(リコー作成作品)はその時に購入。今年の2月に我が家に届き初めて美術品を持った気分になりました。一年間ありがとうございました。

■五大奉仕委員長 事業報告■

■クラブ奉仕委員会 忽滑谷明委員長

年度当初、齋藤栄作会長テーマ「感謝を込めて地域社会奉仕の仕掛け人になろう」を基に、クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージと認知度の向上、クラブ会員が楽しめるクラブになるよう努めるといふ活動方針を掲げ、会員の5名純増、MY ROTARY アクセス登録の推進、各委員会での家庭集会の実施、クラブ内研修の充実、魅力ある例会プログラムの企画及び会員の退会防止を目標とする活動計画を立てました。残念ながら、概ね会長、幹事、各小委員長に任せきりで、クラブ奉仕委員長として力添えせず誠に申し訳なく反省しております。会員増強も目標を達成する事が出来ませんでした。しかしプログラ的には、多方面からの講師卓話、我らの生業の会員卓話、夜間移動例会、ロータリー美術館等々親睦活動も多いに計れる充実した内容であったと感じております。今後も、会員の増強、公共イメージの向上には特に意識し続け、ロータリー活動に邁進する所存です。宜しくお願い申し上げます。



■職業奉仕委員会 繁田光委員長

職業奉仕委員会は本年度、「我らの生業」の会員卓話を行いました。22人の会員の皆様に、職業奉仕のお話をさせていただきました。次年度以降も、残りの会員の方々に卓話していただき、冊子にまとめる計画となっております。



また、健康管理委員会においても、12月に山根あゆ子医師による健康卓話を行い、会員各位の健康意識の向上に努めました。さらに、健康増進としてゴルフ会も開催しました。一年間の活動へのご協力、ありがとうございました。

■社会奉仕委員会 吉沢誠十委員長

地域の人々の文化的
生活環境基準を向上さ
せるため各種の事業活
動を行い、公共イメージ
を向上させるために地
域社会に対して広く事
業展開を進めました。



活動計画として地域社会奉仕部門の活
動を積極的に推進するでは、7月地区部門
セミナーに参加しましたが、クラブに周知
することが出来ず申し訳ありませんでし
た。「希望の風」奨学金には万燈まつりの
収益金を寄付いたしました。

- ・今年5月のロータリーの森清掃には、白
幡会員と奨学生の李君が参加。
- ・例年通りに万燈まつりではバザー品の
販売と活動内容をパネルで展示。
- ・地域交流会には会長はじめ担当する会
員が参画。
- ・入間市の子ども達のための教育支援で
は2月に教育委員会を通して5校にプ
ロジェクタと電子黒板を寄贈。この事業
は次年度も継続する予定です。

社会奉仕は地域のニーズに合った活動
を行って行く事が大切であると感じまし
た。1年間ご協力ありがとうございました。

■国際奉仕委員会 晝間和弘委員長

活動計画の

- ①ロータリー財団・米山
記念奨学会への寄付
はお陰様で会員皆さ
んのご協力により継
続して寄付が出来ま
した。



- ②ネパール奨学里親制度支援(34名
¥292,400)書き損じハガキ収集(2,022
円)も会員皆様のご協力により支援金
を送ることが出来ました。

1年間ご協力ありがとうございました。

■青少年奉仕委員会 宮崎正文委員長

1年間、「青少年奉仕
委員長」として役目を終
わろうとしています、
何をしたかわからない
うちに、終わろうとし
ています。この委員長の仕



事より、入間クラブの理事として理事会に
出たことの方が、仕事をしてきた感じです。

青少年奉仕委員会」は、自分と後藤賢治
さんと二人でした。始めは二人で大丈夫か
なと思いましたが、後藤さんは地区の副委
員長として、長く出ていらしたので、一安
心した次第です。昨年、4月の地区研修協
議会に出席し、「青少年奉仕部門」の研修
を受けましたが、その時はよくわかりませ
んでした。その後、歴代委員長やホームペ
ージ等を見ながら、なんとなくわかった次
第です。そして、年度計画書を昔の年度計
画書やホームページとかを参考にしながら
、作りました。

今年度の【活動方針】としては、「次世
代を担う青少年のニーズを理解し、より良
い未来を確実なものとする」としました。
自分としては、積極的ではなかったにしろ、
応援できた気持ちです。

【活動計画】としては、計画書通り、3
点の計画をしました。その中で、実際にでき
たことは、2番のインターアクト年次大会
に出席したことです。8月に、川越の星野
高校で、「第52回国際ロータリー第2570
地区インターアクトクラブ年次大会」に出
席してまいりました。その中で、各高校の
活動報告や、その高校を支援しているロー
タリークラブの報告を聞き、若い世代が今
後の国際理解や社会奉仕を目標としている
インターアクトクラブを継続し、その活
動を支援し将来のために活動目的を達成
させ、クラブの発展に寄与できるようにす
る大会だったと思います。

その他の活動ができなかったことは、悔
やみますがこれから若い世代を、もっと
応援する所存です。ありがとうございました。

<出席報告>

金井祐一委員

会員数	出席数	出席率	前々回修正率
45名	24名	51.20%	60.98%

事前欠席連絡 8名

■回覧、配布物

- ①ガバナー補佐通信「お礼」
- ②わんぱく相撲入間大会ご報告とお礼
- ③7/25 新旧役員慰労・激励会出席表
- ④他ロータリークラブ週報
- ⑤入間クラブ週報 45号

🌸ロータリー百科事典<ポリオ・プラス>

1985年に発足し当初の目標は開発途上国の子供たちに、5年間ポリオの予防接種を行なうために米貨1億2,000万ドルを集めることでした。ポリオ・プラス募金キャンペーンは1988年に終了し、集められた資金は米貨2億4,700万ドルを記録しました。2002年、世界的な撲滅の達成にあたって最も大きな障害は資金不足であることが判明。ロータリーは「約束を守ろう ポリオをなくそう」と呼ばれる新たなポリオ撲滅募金キャンペーンを開始。活動の目標額を米貨8,000万ドルとしました。ロータリアンは持ち前の寛大さと熱意で、現金、地区財団活動資金、政府からの組み合わせ資金により、米貨1億3,500万ドル以上を集めることに成功しました。全体として、世界的なポリオ撲滅運動へのロータリアンの寄付は米貨6億5,000を上回ると推定されています。同様に重要なことは、国際ロータリーが非常に大勢のボランティアを動員したことです。全国予防接種日には、数十万人のボランティアが地元で支援を提供してきました。予防接種やポリオ撲滅活動のために地域の人々を動員するなど、残されたポリオ感染国でも同様の活動が続けられています。国際ロータリーは、世界ポリオ撲滅推進計画の一員として、世界保健機関、ユニセフ、米国疾病予防センター、各国政府やその他の団体と協同し、保健問題に取り組む世界で最も大規模な公共と民間の協力活動を行っています。この活動により20億人近くの子供たちが経口ポリオ・ワクチンの投与を受け、小児麻痺から守られました。世界保健機関は1994年にアメリカをポリオ無発生国と宣言し、2000年には西太平洋地域、2002年にヨーロッパが続いて無発生国となりました。2006年現在、ポリオの発症件数は1985年以来99%も減少し、アフリカと南アジアにまで絞られた残り数カ国のポリオ蔓延国におけるウイルスの撲滅に焦点を当てています。撲滅の達成はたやすいことではなく、多額の資金を必要とします。5歳以下のすべての子供たちに予防接種を与えるためには、ポリオ蔓延国、その可能性の高い国、そして最近感染した国々が、全国予防接種日を実施し、世界中の子供たちに定期的に予防接種を与え続け、すべての疑わしい症例を系統立って報告し発症には直ちに対応するほか、研究所のネットワークを確立する必要があります。ポリオ撲滅活動のために築かれたこうした基盤は、世界中で広まるその他の感染症と闘う際にも生かされます。ポリオ・プラスほど大規模な運動で活躍した非政府組織は他にありません。それは、世界でこれまでに類を見ないほど壮大な人道的奉仕であるといえるでしょう。この功績は、一人ひとりのロータリアンが誇りとすることができるものです。

<ニコニコBOX> 木下登SAA

- ★最終例会まであと3回カウントダウン宜しくお祈りします。「齋藤栄作君」
- ★齋藤年度あと3回となりました。最終例会に向けてよろしくお祈りします。「豊田義継君、木下登君」
- ★忽滑谷さん写真ありがとう！「宮寺成人君、繁田光君」
- ★欠席がちで申し訳ありません。「岩崎茂君」
- ★入間バンカークラブで優勝することが出来ました。忽滑谷さん写真ありがとう。「一柳達朗君」
- ★山岸さん先週は代わりに発表していただきありがとうございました。忽滑谷さん写真ありがとう。「吉岡信人君」

本日¥12,000 累計¥912,000

発行 入間ロータリークラブ

- 事務所：〒358-0023 入間市扇台3-3-7ハイツ斎竹101号 Tel.04-2964-1700 Fax.04-2965-5788
- Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
- 例会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel.04-2963-1111
- 例会日：木曜日12:30~13:30 ■会報委員長：水村雅啓

